

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科に、前置癒着胎盤で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

“羊水吸引による子宮容量縮小”が子宮底部横切開の腹壁切開長に与える効果の検討

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科 部長 中 後 聡

3. 研究の目的

前置癒着胎盤で帝王切開をするときには、子宮底部横切開が母児双方に安全な手術です。しかし、“子宮底部を腹腔外に露出するために、大きな腹壁切開（恥骨直上から上腹部に至る切開）を必要とする”ことは問題になっています。この解決に向けて、羊水を吸引して子宮容量を縮小させ、腹壁切開が小さくても子宮底部横切開ができるように、当科では工夫をしてきました。今回、この工夫により、患者さんがより小さな腹壁切開で手術ができたのか、また、全身麻酔を追加することなく、通常の腰椎麻酔だけで手術ができたのか、を調査いたします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

前置癒着胎盤の患者さんで、西暦 2012 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日までの期間中に、子宮底部横切開の手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、妊娠週数、吸引した羊水量、腹壁創部上端の位置（臍上○cm、臍横、臍下）、全身麻酔の有無、に関する情報です。

(3) 方法

電子カルテから、上記の調査項目を調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院産婦人科 担当医師 中後 聡

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : satoshin@ajk.takatsuki-hp.or.jp